

# SDGs未来都市 いわてまち

岩手町SDGs  
未来都市  
共創プロジェクト



## 2020年7月に内閣府よりSDGs未来都市に選定されました!!

### SDGs未来都市とは…

内閣府が2018年度よりSDGsの達成に向けた取組を積極的に進める自治体を公募。

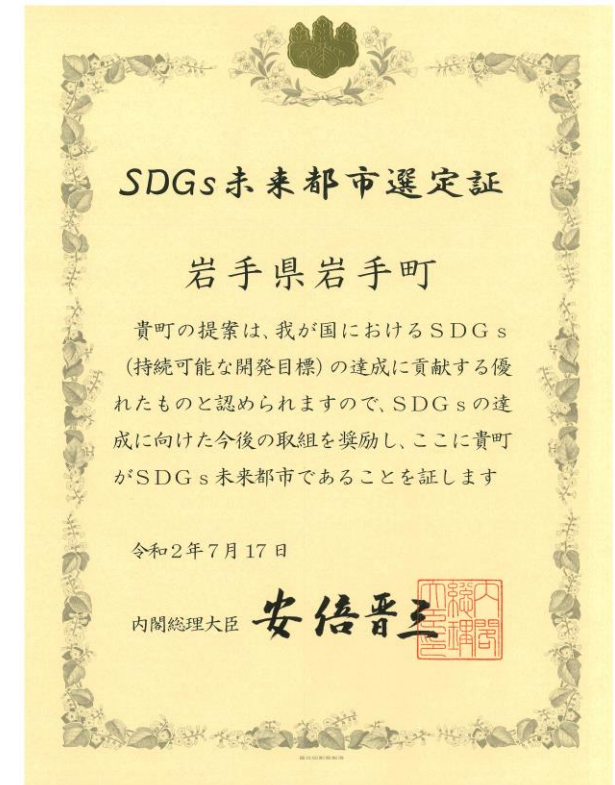
**経済・社会・環境**の三側面の統合的取組により、新たな価値を創造する提案を行った自治体を認定する制度。2022年度現在選定都市は154都市となる。

### 岩手町の提案内容…

「トリプルボトムラインによる町の持続可能性向上モデルの構築・実証～SDGs姉妹都市×リビングラボ～」を提案、

「小さな自治体の野心的な挑戦」と評価された。

2020年度採択された33都市のうち町村単位での選定はわずか2自治体であった。



SDGs未来都市選定証

# トリプルボトムライン

岩手町SDGs  
未来都市  
共創プロジェクト



トリプルボトムラインによる町の持続可能性向上モデルの構築・実証  
～SDGs 姉妹都市×リビングラボ～

## 2030年のあるべき姿

SDGsの理念・ゴールを道導として、岩手町に関わる全ての人々が主体的に、互いに連携・協力し合って町の持続可能性を高めていくことに深い喜びと誇りを感じている状態。

※シビックプライドとは「町に誇りを持ち、自分たちの地域は自分たちで創っていく」という主体者意識や考え方に基づいて実施される参画型のまちづくり手法。



# ロゴデザインが完成しました

岩手町SDGs  
未来都市  
共創プロジェクト



## ロゴデザインに込められた思い

1人のサステイナブルなアクションから、岩手町の新しいidentity(アイデンティティ)が生まれ出され、世界へinformation(情報発信)していく。  
岩手町と世界がinteractive(相互作用)に繋がりは始める。  
みんなの「i(愛)」を繋げよう。



全部で14種類!!  
あなたのお気に入りは何かな?



いわてまちの2030年

# I-Valley

岩手町に根付く持続可能性の高い取り組みが最先端のSDGsコンテンツとして体系化され、それらを学ぶために様々な分野の人が訪れ、実践の場に直接触れている。

## 美しい100年の森を守る未来

伐採から販路までのワンストップサービスが確立され、環境に配慮した持続可能な産業として価値が高まっている。地産材を活用したものづくりが活発に行われている。

## 循環型/環境保全型農業の確立・高度化

自然と共存しながら生産効率を高めるためのICTを活用した農業が実践されている。それらに魅力を感じ、新規就農者が移住してきている。

## 創エネ/省エネによるエネルギー循環の確立

再エネを含めたエネルギーシフトに向けた実験が行われ、断熱や地域特性を活かしたエネルギー創出などにより、一般住宅における光熱費の支出が周辺地域の平均と比べて最小となっている。

## ハブステーション いわて沼宮内駅

ビジネス・産業観光を含めた様々な企業が訪問するだけでなく、観光に訪れる人にとってもハブ(結節点)になっている。



## 岩手町ブランドの確立

岩手町と広域連携で結ばれた各地域では、お互いの強みを活かした持続可能な生産方法で作られたブランド産品が生み出されている。それらは首都圏を含めた多様な販路で販売されている。

IWATEMACHI

名産品の製造・販売

SDGsの学び

地域エネルギーの未来

アーティストと共に成長する町

## 創造性が発揮される町

アートを活用した取り組みが多く行われ、アーティストにとってクリエイティブを発揮する機会と居心地の良い場が提供されている。

## SDGs姉妹都市

農業や林業、文化、アート、スポーツなど様々な分野でSDGsに取り組む世界と国内の各地域との経済を含めた交流が、民間主導の下で積極的に行われている。

※ここに記述されているプロジェクト以外にも多くのプロジェクトを町民の皆さんと共に進めていく予定です。

岩手町が目指す未来

